



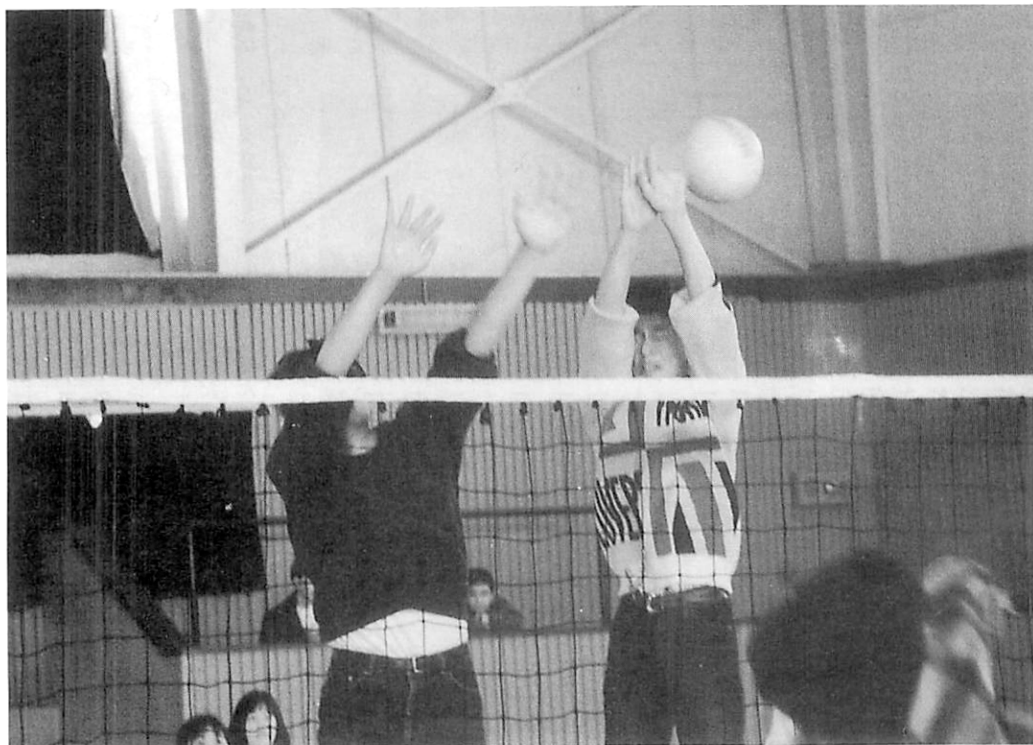
# UP-LE

## Vol. 22

1995年 1月20日

学校法人コア学園  
 飯田コンピュータ専門学校  
 〒395 長野県飯田市松尾明7591  
 ☎0265-22-5111・FAX.0265-22-5100

## 新むい力 ~遊樂祭~



十一月二十三日・二十四日、学園祭（遊樂祭）が開催された。二十三日はスポーツ大会と、学校内の教室で飯田ケーブルテレビによるセガチャンネルゲームコーナーが設置され一般に開放された。二日目には市内のボーリング場でボーリング大会が行われ、学生は二日間にわたって開催された遊樂祭に学習の合間のひとときを楽しんだ。

### 南向きの大きな窓

## 私の青春時代

学校長 林 研 二

NHKの「春よ、来い」というドラマを見て、あの当時、戦争一色の時代に青春を過ごした当時に思い起し、一筆書いてみたい。二十才の時に敗戦となり民主主義の時代となって楽しい青春時代を送ることになったが、そのことはさておいて、戦争を闘いぬぐため滅私奉公を叩きこまれた当時の教育の恐ろしさの辺りにしぼって考えてみたい。

最近、ある有力と云われる政治家が「国家あつての国民」という全体主義的な考え方を示していることを聞き、戦争中の「お国のためには国民は鴻毛の如く軽いもの」とされた時代の教育とオーバラップして空恐ろしさを覚えるのである。個か全体かの議論はつきないところであるが、人類の歴史が所詮戦いの歴史であることは事実であり、国の施策として戦争の途を歩み出している時、国民としてこれに協力すべきであると考えた私は、他に希望もなかったわけではないが、迷わず職業軍人の途を選んだ。幸い念願が叶って昭和十八年四月陸軍予

科士官学校に合格、時に十八才。本科は航空士官学校に進学を命ぜられ、新司偵要員の幹部候補生（実は特攻隊要員だった）として厳しい訓練と勉学に励んだものである。敗戦の年即ち昭和二十年四月には内地の空襲を避け、焼け野が原の東京を後にして、操縦訓練の場を満州に移し特訓を重ねているさ中、その八月にソ連参戦と原爆により敗戦となり運よく故郷へ戻った。「敵を知り味方を知りて百戦危うからず」という孫子の教えがあるが神風を頼りにした無謀な戦さは、多くの有為な人材を失い、国民に塗炭の苦しみを与え、戦後五十年にして未だその傷跡の疼きに苦しんでいる人たちが多数という現実を見る時、時の為政者の判断が如何に重要なものか、政治というものに国民全体がいつも目を光らせ、ものが云える真の民主主義確立が必要であると思うのである。

「物が栄えて心が滅ぶ」などと云われる今の日本に生きる若い諸君は僕等の青春時代とは比較にならない幸せ者だと思いが、自己中心でなく絶えず世の中の動き、政治に関心を寄せてほしいと思うのである。

# 特集 文化（遊楽）祭

1年 S

去る十一月二十三・二十四日に、文化祭実行委員会主催による学園祭（遊楽祭）が行われました。

二十三日は、学生はスポーツ大会、一般の方面は学園内に設けられた飯田ケーブルテレビ協賛によるセガチャンネルテレビゲームの体験が催されました。

僕は、スポーツ大会ではバドミントンに出ました。僕と友人Tのペアは、戦った試合は全て勝ったのですがチームとしては一勝しかできませんでした。僕達のチームが最初に当たったのは、先生達のチームでした。僕は、先生達のT先生とK先生のペアのT先生は、バドミントンの写真を撮っていたところをひっぱり出され、しかも、バドミントンは初体験だったらしくK先生の足を引っ張っていて、僕のバドミントンを久しぶりにやるのと日頃の運動不足とで、スカスカ羽根を落とすのを見事にフォロイしてくれました。後の試合は調子も出てきて、何とか勝てました。他の種目や別のチームでは入賞したところもあって、

大変楽しいスポーツ大会でした。試合がない時や、お昼などに学園内でやっているゲームコーナーに行ってみましたが、一般人達もけっこうたくさん来ていてなかなかの盛況ぶりでした。

二十四日は、学生同士でボーリング大会が行われました。二人一組なので、僕は先日のバドミントンで組んだ友人Tと組みました。

さて、ゲームも始まり一フレームづつ交代で投げるということなので、僕から行きました。少しキンチョーしましたが、なんとかストライクが出て幸しいかなと思いましたが、良かったのは最初の一投だけであとはスベアも取れませんでした。友人Tは三、四ゲーム練習すると調子が出てくる人なので、二人とも結局ボロボロでした。隣のレーンの二年生がストライクを続けてたくさん出していたので、感心して見ていました。僕等の結果は、二ゲームやってどちらも良いものではありませんでしたが、みんなでワイワイ言いながらするボーリングは本当に楽しかったです。

二日間にわたる遊楽祭はあつ

というまに過ぎてしまいましたが大変楽しい時間を過ごせたと思います。

昨年のスポーツ大会よりは数段ましなボーリング大会ではあったが、僕の心はボーリング大会には全然なく、ボーリング場に

## ボーリング大会

あるゲームの方に関心があったのだ。

だから真っ先に目的地に出発し、一番のりをした。なのに、時間が早すぎたためにゲームは電源が入っていなかったのだ。

僕はショックだった。もうそれだけで一番に来た意味はまるでなくなってしまう。が、しかしみんな集まったところで電源が入った。「やった！これでゲームをすることが出来る」僕はとてもうれしかった。しかし、時間というものがある。僕は満足にはできなかった。相方に呼ばれてしまったのだ。

ゲームがいまいちできなかった。僕のエネルギーが0に近い状態だったせいかボーリングゲーム目は散々だった。隣のレーンでやっていた男は相方がこないで一人で文句を言いながらやっていた。僕は「フツ、相方に見捨てられたのか、哀れな奴よ。ほっほっほ」と心の中でとても同情してしまいました。

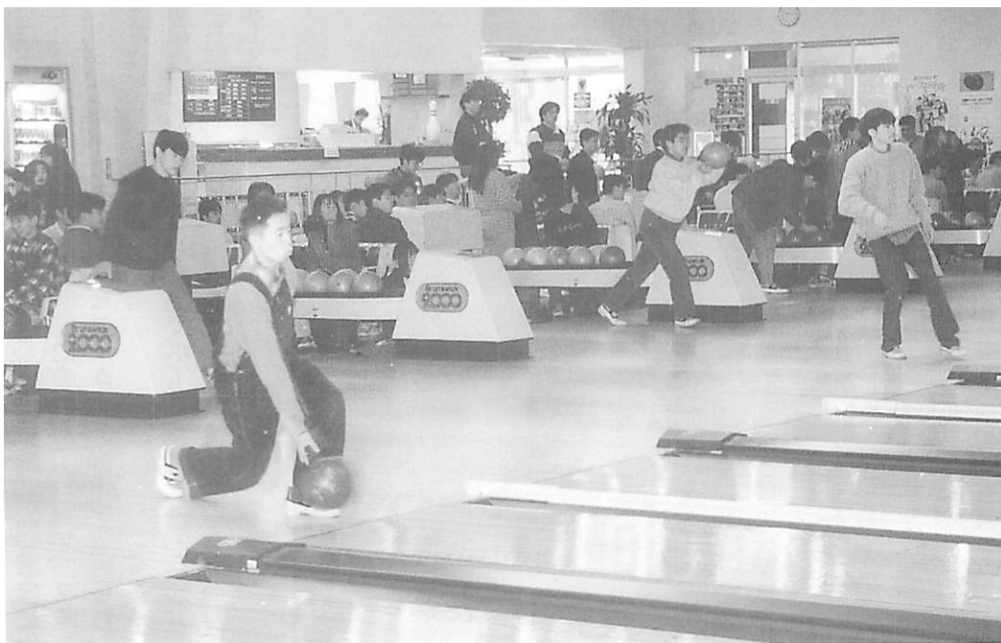
僕達のチームはとも書けないようなひどいスコアでゲーム終了した。休憩の時にももちろん当然のようにゲームに熱中した。

今度は大丈夫だ。だが十五分だけで僕のエネルギーもまあ半分くらい。まあいいやと思いつから二ゲーム目に入った。

今度は何故だか調子がいい。人の調子がいいのに文句を付ける独りぼっちの孤独な野郎もいたがそんな奴はほっとけばいいと思った。だが奴はしつこかった。僕もエネルギーの不足で後半はまるでだめだったが、とりあえず前のゲームのスコアよりもとてもいいのでまあいいだろうと納得することにした。

その後は、一時までに学校に戻ればよいということだったので、僕はやっぱりゲームをするのだった。「フツ、やっぱり僕にはゲームがよく合っている。ここは俺の庭だし、とてもやりやすい。」いい気分になって学校に戻ったが僕はショックだった。

なんとプビー賞があるではないか。あるのだったらねえらえよかった。それよりもショックだったのは弁当が出なかったことだ。僕は悲しい。せつかく自前じゃなくてただで飯が食べれると思ったのにとても残念だ。でもボーリングもできたし、それを考えればまあ楽しいボーリング大会だったかと納得して、まあ終わった後も行けばいいかと考えたのだった。



# 遊楽祭

## 文化祭実行委員長？

T・O

今回の遊楽祭ほどうい加減な計画の中で行われた行事はないと思う。

初期の予定では十一月初旬までにはすべての計画準備を済ませようとしたが、委員長・副委員長とも元々いい加減な性格の為、実際に動き始めたのは遊楽祭まで後一週間と迫った十五日頃だった。

遊楽祭の内容は、学生からアンケートをとっていたので問題なくスポーツ大会・ボーリング大会に決定した。実際に行うためには、会場、弁当の予約、組み合わせなど様々な仕事が残っていたが、第三回遊楽祭の内容が今回と同じだったので、組み合わせなどはすべてそのまま使うことで片付けた。

スポーツ大会は、春にやっているので進行の仕方などは覚えていたが、ボーリングの方は初めてなので組み合わせが難しく組み合わせ中に一部裏工作などがあった為、くじ引きで決める事で解決した。どんなにいい加減な計画でも、実際に始まってしまえば何とか進行していくものだ。予想よりも出席者も多く自

己満足ではあるが、成功という感じで終わることができた。来年もここにいれば今度は盛大な文化祭にしたい。

## スポーツ大会を

終えて

十一月二十三日・二十四日の文化祭の中で、スポーツ大会が行われた。今回はバレーボール・バスケット・バドミントンの三種目で試合が行われました。私は三種目の中でも得意なバドミントンに出ました。いざ試合になってみると、どのチームも弱くて試合にならなかった。

しかし、決勝のところまでくると少し苦戦しました。

私はバドミントンだけでは物足りず、バレーボールとバスケットにも出場しました。最近、運動不足のせいもあり、バスケットはとでも大変だった。でも少しでも点が入れられてよかった。バレーボールの方はあまり走らなくていいので楽だった。アタックも打てたので楽しかった。終わってみると二年電子は、バドミントンとバレーボールが一位でした。一位になるとお金をいくらもらえるのでみんなで分けました。

一番えらいのはそのあとで、三日ぐらいは筋肉痛で動けなくなります。

## 文化祭に

ついて

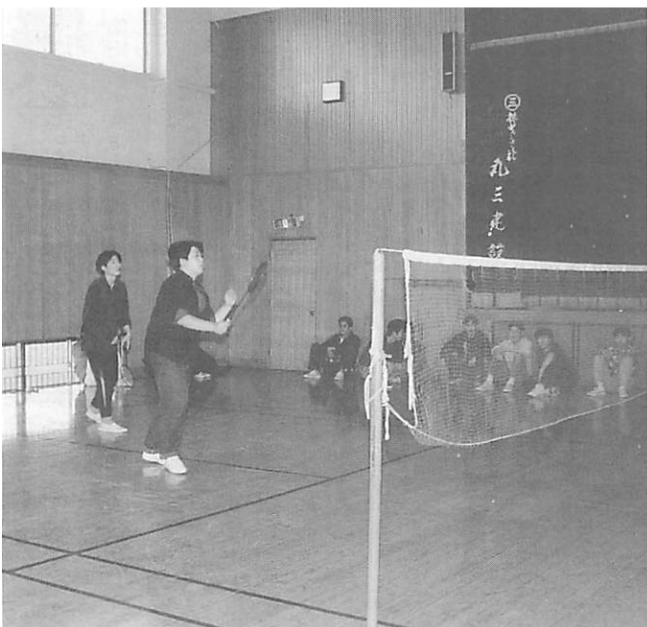
N・H

十一月二十三日・二十四日の文化祭が行われました。

一日目はスポーツ大会で、バレーボール・バスケットボール・バドミントンの三種目でした。私はバドミントンだったので他の種目は殆ど見れませんでした。前回は前回よりもみんなの事を知った分、チームワークが良くなっていたのではないかと思います。私達のチームは残念ながら上位に入れませんでした。他の一年チームが三位に入れて良かったです。五月の時より弁当がおいしくうれしかったです。

二日目はボーリング大会がありました。私はガーターばかりだしてしまいましたが、二百近く出している人もいて、すごいと思いました。

学校の方では一日目にゲーム体験コーナーがあったようですが、実際には私はできなかった。二日間も体力がもつか心配でしたが、心配ないくらい楽しめた二日間でした。



# 今年の就職活動状況

## 就職について

二年 O A

今年は、去年にもまして就職難ということでした。

しかし、私は結構のんびり屋なので本格的に就職活動を始めたのは九月ごろだったと思います。

私は自分がどういう仕事をしたいとか、どんな職種がいいのかという具体的な目標がなかったのも、就職活動に力が入らなかった原因の一つだったと思います。

私は飯田市企業ガイダンスに出席をしなかったのですが、

企業があるのかよく分かりませんでした。九月ごろは、クラスのみならず結構就職が決まっていたのであせりました。それでも週二回は学校の就職指導室へ行き、各企業から送られてくる求人票に目を通していました。五・六月に学校に届いた求人票は一次試験や二次試験、面接など大抵終了しているのであきらめて、八・九月に届いた求人票を重点的にチェックしました。でも、さすがに九月ともなると各企業から送られてくる求人票

も少なく大変でした。そんな中で私の選んだ企業は、東京で食べ物関係の販売をしている会社

でした。東京へは、会社説明会、試験、一次面接、二次面接、役員面接、それに社長面接と計五

回も行ったのでお金がかかって大変でした。でも、その会社からは内定をもらったのでうれしかったです。しかし、私の場合自分が好きでその東京の仕事を

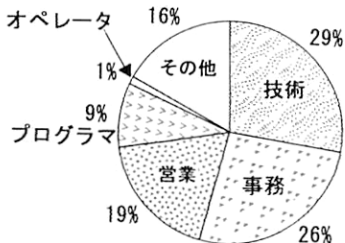
選んただけではありません。学校に来た求人票の日付の新しいのを見て応募したのです。その会社の職種が本当に好きなのではないので、長く続くかは分かりません。

やはり、就職というのは自分の一生のことなので、時間をかけてじっくりと自分にあう職種を見つけているのがいいと思います。皆さんも気をつけてください。

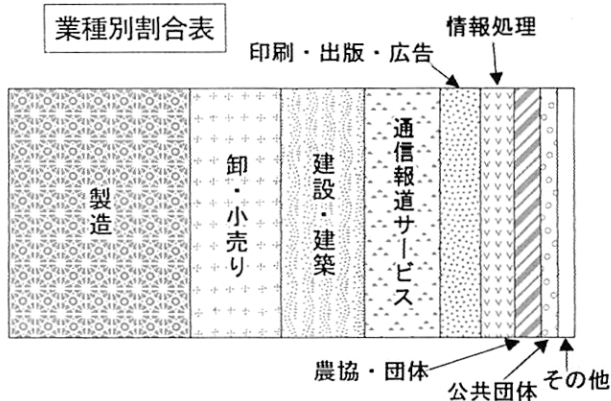


ここにある2つのグラフは、12月までに内定をもらった人たちの合計を職種別と業種別、それぞれの割合を示したグラフです。今年度は、不況の影響で就職活動が思うようにできなかった人が数多くいたのではないのでしょうか。そんな中であって就職内定率が85%（94年12月現在）とさほど悪い数字ではないと思います。女子にいたっては100%と、申し分ない結果がでています。ただし、情報処理関係の仕事に就く人が少ないことが学校側は残念なのではないのでしょうか。とにかくまだ内定をもらっていない人はがんばってもらいたいです。 筆・広報委員

職種別割合表



業種別割合表



## 協賛会「学校運営懇談会」行われる

飯田コンピュータ専門学校協賛会の今年度事業として予定されていた「学校運営懇談会」が、十月三十一日（月）学校会議室で開催された。

当日は、中島協賛会長のあいさつに続き林校長からは、日頃の御礼が述べられ、報告・懇談が進められた。

まず学校側から、学生の資格取得状況や就職指導状況など学校運営について詳細の報告があり、続いて新年度（平成七年度）に向けて教育課程を一部変更・整備することと、その要領などについて説明が行われた。

これによると新年度は、現行の二学科三コース制（電子情報、情報処理、OAビジネス）を一学科に統合し、新たに六コースとなる。

新年度から学科名は「情報システム工学科」となり、この中に、システムエンジニア、システムプログラマ、システムアドミニストラクタ、アプリケーションプログラマ、アプリケーションエキスパート、ビジネススペシャリストと六コースが用意される。新たに設けられるコースはすべてカタカナ表記で耳慣れない名前もあるが、変更の主旨は、ハードウェア技術からプロ

グラム、ソフト開発、更にパソコンのビジネスへの応用まで、幅広いコンピュータ技術、ビジネス関連知識を修得し、この地方の企業・事業所に今後必要とされる人材を養成していくことにあると説明された。

引き続き学校が当面している最大のテーマである新年度学生の募集について、その状況と見通しや、またそれに対する今後の対策などについて意見が交わされたが、新年度も今年（六年度）に増して厳しい状況が予想され、協賛会も挙げて積極的に募集活動に協力していくことが確認された。

協賛会長や飯田市の関係者等による高校訪問など、具体的な募集活動も活発に行っていくと話し合われた。



# 総合講座

# 企業情報化研修会



三菱電気(株)中津川製作所

『換気扇工場におけるCIM化の実例』

販売会社と工場との間にCIM (Computer Integrated Manufacturing) というシステムを導入し、短納期生産体制の実現。それによる、即納率九五%、納期即答率一〇〇%の実現

多摩川精機(株)

『多摩川情報管理システム』

コンピュータ導入による営業・資材・経理総務等事務部門の合理化、ホストコンピュータのレベルアップやCADシステムの導入による業務のリアルタイム処理の実現。また協力工場にもパソコンを導入しネットワークシステムを構築。情報の同時共有による情報のレベルアップと経営資源化の構想

『バーコードを進化させたデータ・コードの開発と活用』

ふだん使っているバーコードは、単なる呼び出し符号であり、バーコード自体に情報は入っていない。情報を記録し必要なときに読み出せ、すべての文字を取り扱うことができるデータ・コード開発の説明と実演

オムロン(株)飯田

『パソコン・FAX併用による協力工場との「草の根ネット」』

同社で開発している車載用電子機器(サブシステム、リレー、スイッチなど)の紹介、OMRON情報システムやファックスとパソコンを併用したネットワークの活用について

最後は飯田情報産業協議会から、情報化を進めている飯・伊地域情報産業企業の紹介。業務内容・主要製品等の他、主要取引先とのつながりなどについて

以上各社から様々な事例や計画、またそれによる効果などが紹介され、集まった各企業の人達の関心を集めていた。途中、二時四十分から二十分間の休憩があったが、直前に「バーコードを進化させた……」の発表があり、この時間に実演をするという事で多くの企業の方が機械の回りにあつまり熱心に説明を聞いたり実演を眺めていた。学生にとっては少し高度な内容だったが、このような講座は授業で学んでいることが会社に入るとどのように役に立つのか考える良い機会になることだろう。

## 企業情報化研修会

のこ  
1年

十一月二十二日、総合講座は「企業情報化研修会」と題して飯伊地域企業の情報化の様子を講演してくれた。

県内の企業の情報化の動向を初めとして、生産から販売までのルートへのコンピュータの導入による製品納期の短縮や品質の向上、バーコードを発展させたデータコードを使用することによりバーコードでは不可能だった小さい物にもコードを付けられるようになったなど大量のデータを効率よく処理できるシステム構築の内容が各企業から説明された。

各内容に触れ情報化社会の発展、特にコンピュータを使用した情報処理技術の進歩はわれわれ学生には目を見張るものがある。更に私には、これから足を踏み入れなければならない社会の複雑さをほんのわずかだが垣間見たような気分だった。

講座が終わった時には柄にもなくこれからの自分のことなどを考えてしまった。自分は今までマルチメディアには全く関心がなかったのだが、今日の講座によって多少なりとも興味を引かれるようになってきた。また、授業とは違い実際

にその現場で生の情報処理体験をしている企業人の話を聞き、いつもとは異なった観点でコンピュータ関連の知識を広めることができ、とても参考になった。最初、三時間もの総合講座は長くてとても聴く気がしなかったが、出席した甲斐があったと思う。



## 二年 電子

十一月二十二日の総合講座では企業情報化実例研修会として情報化に積極的に取り組んでいる企業として四社のお話を聞いた。

今の時代は、情報で動いているといっても決しておかしくない。どの企業もコンピュータや通信機器などを使っている。様々な情報を集めたり、コンピュータの利用による生産システムコントロールや合理的な製品管理などで自分達の会社の業務に利用

してたり社内外でのネットワーク化が推進されていることも解った。製造業は主に品質の向上、コストの削減、納期の短縮とバーコードリーダーの利用によって、使いやすさと正確性をより一層向上させている(今までのバーコードとはまったく違うらしい)。よって、コンピュータはもう、ほとんどの場所が使われていることがわかる。少し前までは、コンピュータがあっても、それを有効利用できる人が少なくてうまく動いていなかったと話していた企業もあった。今では、コンピュータのことをある程度理解している人が多くなってきたようである。それを考えると今、コンピュータの知識の大切さが解かる。しかし、ある程度年をとってから勉強するのはさすがに辛いかもしれない。もしも、自分が年をとって「勉強しろ」と言われても恐らく覚えられないと思う。現在コンピュータ専門学校で勉強していることは、将来きつと企業で役立つことだろう。そういうことを考えると、コンピュータ時代の流れに乗り遅れないため、この学校でやっていることを「今のうちにしっかりと勉強しておくべきである」とつくづく感じた。

# 各種試験合格者

## 情報処理 技術者試験第2種



### J 検

二級  
二年電子 三浦 隆彦

二年情報  
赤須 潤一・市瀬 優子

椎名 延子・代田 明子

林 誠人  
二年〇A 佐々木 順

三級  
二年電子  
赤須 雅春・上田 茂

大原 智幸・高坂 望

小嶋 忍・沢口 文彦

塩沢 誠・高柳 善明

中嶋 康治・馬場 隆

原田 武彦・丸谷祐一郎

三浦 隆彦  
二年情報  
赤須 潤一・大倉 政喜

長村 正樹・小澤 智洋

酒井 勝史・下井 敦史

下島 祐二・下平 英雄

須山 政克・高原 正基  
高山 純行・滝沢 篤志  
西尾 美香・壬生 寛之  
宮下 将洋  
二年〇A  
青木 孝太・市村 幸子  
岩本 和浩・大沢 直樹  
小野 敦子・川手 政訓

### ワープロ検定

三級  
二年情報  
新井 智子・木下 景子  
後藤 照代・代田 明子  
鈴木美介子  
二年〇A  
市村 幸子・川手 政訓  
白鳥 章子・原 佳寿江  
牧内 真理・宮下貴美代  
一年  
井田 一邦・伊藤 忠倫  
木下 誉史・林田 諭  
矢澤 庸弘

三級  
二年情報  
新井 智子・木下 景子

後藤 照代・代田 明子

鈴木美介子  
二年〇A

市村 幸子・川手 政訓

白鳥 章子・原 佳寿江

牧内 真理・宮下貴美代

一年  
井田 一邦・伊藤 忠倫

木下 誉史・林田 諭

矢澤 庸弘  
四級  
二年〇A

青木 孝太・大沢 直樹

中平 桂司・牧内 俊英

松澤 容子・渡部 誠

山岡 克明・松下 広貴

一年  
井田 一邦・伊藤 忠倫  
上松 茂信・梶 俊太  
北林 義雄・北原 早苗  
木下 誉史・黒川 和彦  
小池 玲子・酒井 大介  
佐々木 隆・篠田 淳子  
下田 優子・遠山 博志

### 秘書技能検定

三級  
二年情報  
新井 智子・椎名 延子  
二年〇A  
折山 幸子・中塚 淳子  
中山 聡子・牧内 真理  
宮下貴美代  
一年 佐々木葉子

三級  
二年情報  
新井 智子・椎名 延子

折山 幸子・中塚 淳子

中山 聡子・牧内 真理

一年 佐々木葉子  
ビジネス文書技能検定

二級  
二年情報 木下 景子

三級  
二年情報  
大蔵 博史・小平 昭義

酒井 勝史・椎名 延子

下井 敦史・高原 正基

西尾 美香・北原 幸樹

一年〇A  
小野 敦子・下井田 衛

中塚 淳子・中山 聡子

牧内 真理・松沢 修

久保田 暁

### ペン字検定

三級  
二年〇A  
青木 孝太・岩本 和浩

大沢 直樹・小野 敦子

折山 幸子・川手 政訓

熊谷 慎介・西條 緑

佐々木 順・下井田 衛

下枝 国博・中平 桂司

中塚 淳子・中山 聡子

原 佳寿江・牧内 俊英

牧内 真理・松沢 修

松澤 容子・宮下貴美代

渡部 誠・久保田 暁

櫻井 高廣・山岡 克明

松下 広貴・吉澤 公二

### 毛筆検定

三級  
二年〇A 市村 幸子

### 編集後記

やっとの思いでUP-LE二十二号発刊にこぎつけました。これだけ遅くなってしまっただけを書いてもらった皆さんをはじめとして、会員の皆さんにご迷惑をかけたことをふかくお詫びします。とりあえず出来たので読んでください。編集委員の皆さん、のんびりした委員長に長い間一生懸命やってくれて本当にありがとうございます。顧問の先生、長い間おんびりした委員長につきあってくれてどうもありがとうございました。

### 日商簿記検定

三級  
二年情報 椎名 延子

一年 細江 幸弘

四級  
二年情報 下島 祐二

一年 梶 俊太



## 伝言板

- (1月)
  - 9日 年始式
  - 24日 卒業研究校内発表会(情報)
  - 28日 一般入試
  - ペン字検定
  - 31日 卒業研究校内発表会(〇A)
- (2月)
  - 7日 卒業研究校内発表会(電子)
  - 12日 秘書技能検定(2、3級)
  - 21日~24日 卒業試験
- (3月)
  - 6日~9日 後定期試験
  - 10日 卒業式